



〈本体商品の取付情報〉

年 式	型 式	車 種	最大取付数		本 体 の 取 付 方 法						オプション	
			ト レ ード イ ン	ア ド オ ン	キ ット レ ス	取付キット使用			備 考	1D		2D
						型 番	主な付属品	希望小売価格 (税別)		46 サイズ		46 サイズ
H22/7~H29/12 注24	DBA-CWEFW DBA-CWEAW DBA-CWFFW	オーディオレス (注15)	2D		×	KK-T53D <sup>Ⓚ</sup>		6,500円	注20,21 22	◎	◎	 注20
		D.OPの オーディオ付	2D		○				注10,20 21,23	◎	◎	

(注10) アンテナの接続にディーラーオプションの「アンテナ変換コード」(C900 V6 014) を使用していない車両の場合は、「アンテナ変換コード」の購入が必要です(車両側のアンテナコネクタは2P・GTコネクタタイプです)……なお、「アンテナ変換コード」が購入できない場合はキットレス取付けは不可で、取付キット KK-T53D<sup>Ⓚ</sup>を購入し、キットに同梱のアンテナ変換コネクタ (GT→JASO) を使用して取付けます(その場合は純正ブラケットは使用しないため余ります)。

(注15) 全車標準はオーディオレス(2D窓付車)で、純正ブラケットは装着されていません。

(注20) 純正ステアリングリモコン(メーカー呼称「オーディオリモートコントロールスイッチ」)付車の場合、純正ステアリングリモコンにはそのままでは接続できません。オーディオ配線コネクタ(24P)までステアリングリモコン用配線が引き回されている場合に、別売のステアリングリモコンアダプター KK-T202ST<sup>Ⓚ</sup>(希望小売価格8,000円、税別)、または別売のステアリングリモコンケーブル KJ-H101SC<sup>Ⓚ</sup>(希望小売価格1,500円、税別)を使用すれば車両側配線との接続は可能ですが、取付ける商品によって使用する別売オプションや使用可否が異なりますので、商品別の対応状況他の詳細については、必ず取扱・取付説明書や「純正ステアリングリモコン適合情報」等をご確認ください。但し、ランニングチェンジ(仕様変更)前の取付キットまたは配線キットの場合はステアリングリモコンの信号取出用のケーブル(ギボシ)がないため、車両側のステアリングリモコン用配線に直接接続する必要があります。





(注21) リアブラケットをステレオに取付ける際、リアブラケットのブッシュ取付部の角にステレオ背面のコード類が当たる場合には、コード類が破損しないようテープなどで保護処理を行う必要があります。

(注22) メーカーオプションのオーディオレス+バックカメラ付車は、バックカメラは使用不可になります。

(注23) ディーラーオプションの8型ナビゲーション(H25/1に追加設定)付車は取付不可。






(注24) H25/1のマイナーチェンジでセンタークラスター窓口周囲の形状が変更されていますが、基本的な仕様・取付可否は同じです。

〔取付キットの主な付属品の記号〕

接続が可能な配線	配線コネクタが付属	電源用アンブロックが付属	取付キットに 化粧パネルが付属
	トレードイン取付け専用		
3電源(ACC、常時、イルミネーション)			P
3電源+フロント・スピーカー			
3電源+フロント・スピーカー+リア・スピーカー			

接続方法は取付キット内の取付説明書に掲載。

〔別売オプション関係の記号〕…… マツダ車

◎	取付化粧パネルが不要	D46サイズをキットレス取付けする場合に、別売の化粧パネルが不要なことを表します。 D46サイズを取付キットを使用して取付ける場合に、取付キット付属以外の、別売化粧パネルが不要なことを表します。
24 	マツダ車用配線キット KJ-T24P <sup>Ⓚ</sup> が使用可能	別売の専用配線キットが使用できます。24は24P車でKJ-T24P <sup>Ⓚ</sup> (2,500円、税別)の適応車種です。
12 	マツダ車用配線キット KT-12P <sup>Ⓚ</sup> が使用可能	別売の専用配線キットが使用できます。12は12P車でKT-12P <sup>Ⓚ</sup> (2,500円、税別)の適応車種です。特に、オートアンテナ装備車の場合にKT-12P <sup>Ⓚ</sup> を使用する場合には、オートアンテナ電源用リレーが付属されていますので大変便利です(車種によっては電源リレーを使用しないとオートアンテナが動作しません)。
	FMダイバーシティ アンテナ変換コードが必要	FMダイバーシティ方式アンテナ車にトレードイン取付けをする場合で、パイオニア・FMダイバーシティ機能内蔵チューナーデッキアンプ/ハイダウェイチューナーを取付ける時には、別売のアンテナ変換コード RD-AN33(2,000円、税別)を使用します。
	車両の純正ステアリング リモコンが使用可能	別売のステアリングリモコンアダプター、または別売のステアリングリモコンケーブルを使用することにより、車両側のステアリングリモコン用配線との接続が可能であることを表します。 (注) …純正ステアリングリモコン付車でも、車種やグレード、仕様等により使用できない場合がありますのでご注意ください。
	汎用モニター取付金具が使用可能	汎用モニター取付キットKW-27V II <sup>Ⓚ</sup> (12,000円、税別)がシート取付ボルト部に取付可能です(車種により、助手席シートが当たったり、スライドが充分できなくなる場合がありますので、注記文に注意して取付けてください。また、車種によっては、KW-27V II <sup>Ⓚ</sup> 付属のロッドが使用できない場合もあります)。 (注) …KW-27V II <sup>Ⓚ</sup> は、助手席エアバック装着車で、エアバックの作動に支障のある場合には、ご使用にならないでください。

※表の見方については、本サイトの取付詳細情報(PDF)の見方、および基礎知識や用語解説などをご確認ください。

〈スピーカー商品の取付情報〉

タイプ	取付場所	注記 A	カスタムフィット							注記 B	ボックスタイプ						ユニットタイプ			サテライト		
			TS- V173S	TS- C1730S C1730	TS- F1730S F1730	TS- C1630S C1630	TS- F1630S F1630	TS- F1030S F1030					TS- X480G X380	TS- X180	TS- E1796	TS- E1676	TS- E1396	TS- E1076	TS- G1030	TS- STH1100	TS- STH700	TS- STX510
ワゴン	Fドア		X	X	X	X	X	X						X	X	X	X					
	インナー バッフル	⑥	㊦⑮	㊦⑮	×⑱	㊦⑮	㊦⑮											×⑭	×⑨	×⑨		
	Rサイド		X	X	X	X	X	X				X	X	X								
	インナー バッフル	⑤⑥⑬	㊦②	㊦②	㊦②	㊦②	㊦②	㊦⑱														

注記  
② トリムのグリル部裏側の楕円形リブにスピーカー取付ネジの頭、およびTS-F1730S・F1730はエッジ・ロール部も当たるため、楕円形リブを切取加工（全周をTS-F1730S・F1730では約6~7mm、その他のスピーカーでは約3~4mm）する必要があります……（取付ネジの頭が当たる部分のみを切取ると、エッジ・ロール部が当たる可能性があるため全周を切取ります）。  
⑤ 端子を前方以外の方向にして取付けます。  
⑥ インナーバッフルUD-K717（希望小売価格21,000円、税別、2個1組）/UD-K617（希望小売価格10,000円、税別、2個1組）使用で可。  
⑨ リアピラー部トリムは形状が非適合で強度も弱く取付不可。  
⑭ リアピラー部トリムは形状が非適合で取付不可（Cピラー部はブラケットが取付不可）。  
⑮ トリムのグリル部裏側の楕円形リブに、スピーカー取付ネジ（上部前方と下部後方の2本）の頭が当たりますがそのまま取付可能です（楕円形リブを切取ってもトリム側に当たり、スピーカーによっては切取ることによりエッジ・ロール部が当たりますので、切取らずに取付けます）。  
⑯ 純正リアスピーカーを取外すにはリアサイドトリムを外す必要がありますが、リアサイドトリムを外すにはサードシートの取外しが必要で、作業はやや複雑で時間を要します。  
⑱ トリムのグリル部裏側の楕円形リブにエッジ・ロール部が当たるか非常に近くなり、楕円形リブを切取ってもグリル部に当たるため取付不可。  
⑲ トリムのグリル部裏側の楕円形リブに、スピーカー取付ネジの頭が少し当たるがそのまま取付可。

〔カスタムフィットスピーカーの記号〕

◎	取付可（スピーカーに付属のコネクター使用）	⊕	取付可（別売の配線コードでの配線が必要）
◇	取付可（スピーカーに付属のブラケット等使用）	㊦	取付可（別売の「スピーカー取付キット」を使用し、別売の配線コードでの配線が必要）
□	取付可（別売の「スピーカー取付キット」使用）	㊦	取付可（別売の「インナーバッフル」を使用し、別売の配線コードでの配線が必要）
㊦	取付可（別売の「インナーバッフル」使用）	×	取付不可
⊙	取付可（配線加工が必要）	空欄	非適合、または未調査で取付可否不明
◆	取付可（スピーカーに付属のブラケット等を使用し、配線加工が必要）		

〔ボックスタイプ/ユニットタイプスピーカーの記号〕

◎	取付可	△	取付可（別売の「スぺーサー」使用）
●	取付可（鉄板加工が必要）	▲	取付可（別売の「スぺーサー」使用で、鉄板加工が必要）
○	取付可（スピーカーに付属のスぺーサー使用）	□	取付可（別売の「スピーカー取付キット」使用）
●	取付可（スピーカーに付属のスぺーサー使用で、鉄板加工が必要）	×	取付不可
		空欄	非適合、または未調査で取付可否不明

〔サテライトスピーカーの記号〕

○	取付可	(×)	取付不可（サードシート未使用時に限り取付可）
		×	取付不可
△	条件付きで取付可（注記参照）	空欄	非適合、または未調査で取付可否不明

※表の見方については、本サイトの取付詳細情報 (PDF) の見方、および基礎知識や用語解説などをご確認ください。